MDHCだより

NO. 39

H19. 11. 5

三河歯科衛生専門学校

目指せ「ママでも金！（勤！）」

天野歯科医院　天野祥子

世界柔道で金メダル獲得の谷亮子さんが、「ママでも金」の目標を立てて、出産後アスリートとして復活された事は皆様ご存じの事と思います。アスリート＝歯科衛生士と考えた場合に、産休・育休を経て直ぐに職場復帰する歯科衛生士はどれ位いるのかと疑問を抱いたので、身近のママさん衛生士（子供は生後 1 年半）に話を聞いてみました。

Q）なぜ子供が小さいのに歯科衛生士を続けるのですか？

A）出産を機に仕事を辞めた仲間が、復帰に苦戦しているのを見て、何とか継続の道を開きたいと思ったこと。子育ての経験を含め、人生を積み重ねることで、より患者さんとも信頼関係が築けるようになり、本当のプロフェッショナルになっていくと考えていること。何より仕事が好きなので。

Q）どうしたら小さな子供を持ちながら仕事を続けることができますか？

A）大きな要素として職場の理解。時間や働き方に無理が出ると続かない。後は目標があるからでしょうか。とりあえずは、認定を取得することを目指しています。

さあ、これから歯科衛生士になる皆さん。目標はありますか？どんな歯科衛生士を目指しますか？やわらちゃんが「ママでも金」なら、皆さんも「ママでも金（勤！）」を目指し、本物のプロフェッショナルになってください。

1　第３期臨床実習を終えて（３期臨床実習アンケートを中心として）

「実習内容で費やした時間の多いもの」

診療補助、予防処置、保健指導を合わせた業務が 1 期 59%、2 期 63%に比べ 3 期 84%と大幅に増えた。見学や器材準備・片付けが減り、ＤＨ業務を任せてもらう機会が増えたようだ。

「実習以外での時間の使い方」

実習帳記録が 67%と一番多い。また国家試験勉強が 4%で、僅かではあるが国家試験を意識する学生が増えてきた。テレビ・外出は共に 2%と低いが、アルバイトが 12%と 1・2 期より増えており、勉強時間が取れるのか不安が残る。

「努力したこと・勉強になったこと」

1・2 期ではバキューム・ライティングがもっとも多かったが、3 期は患者対応が一番多く、二番目にスケーリングという結果になった。患者さんとの対面業務を任せていただけるようになり、改めてコミュニケーションの取り方の難しさを知り、またＤＨの専門的な業務にも力を注げるようになったのではないか。

「大変だったこと」

『知識不足のため、それぞれの患者さんに合わせた口腔衛生指導をするのが難しかった』という意見が多かった。

「今後の心構え」

『3 期でできるようになったことを 4 期でさらに発揮したい』、『一日一日を無駄にせずにたくさんの事を見たり聞いたりして自分の視野を広げていきたい』等、意欲が伺える意見が大半を占めた。

「臨床実習の感想」

『流れを掴めるようになり、言われて動くのではなく自分で動ける実習は本当にイキイキと毎日頑張ることができた』、『先生・衛生士さんなどにたくさんのことを分かりやすく教えてもらい、歯科衛生士の職を選んでよかったと心から思えた』と感謝の気持ちを表していた。

＊4 期事前指導では、1～3 期の実習を振り返り、「実習帳を振り返って」「臨床実習で出会った理想の歯科衛生士」「私のヒヤリハット事例」等のテーマで、グループディスカッションを行いました。

2　研修旅行

～横浜・ＴＤＬ・東京歯科大学～

10/24～26 の 2 泊 3 日で、東京歯科大学での解剖学講義・標本室見学をメインとした研修旅行を実施しました。

東京歯科大学解剖学標本室にて

＜東京歯科大学～学生感想文(抜粋)～＞

『講義では、咀嚼・嚥下のしくみを動画で説明していただき、物を飲み込む動作一つにしても、とても複雑な動きをすることが分かりました。私たちが主に見るのは口腔内だけれど、医療人としてもっと全身のことを知っておかなければいけないと感じました』

『標本室の見学では、貴重な体験をさせていただきました。筋肉や神経などは一本一本細くて、その一本一本が表情を作ったり、口を動かしたりするのだと思うと凄い事だと思いました。絵や写真などでは大きさも立体的な形も分からなかったけれど、様々な角度から見て理解することができました』

3　今後の主な行事予定（２年生）

・臨床実習４期終了	12/ 7（金）
・臨床実習４期まとめ	12/10（月）
・国家試験集中学習開講式	12/10（月）
・冬休み	12/21(金)～ 1/10（木）
・第２回全国統一模擬試験	1/11（金）
・卒業試験	1/21(月)～ 1/25（金）
・国家試験	3/ 2（日）
・卒業式	3/13（木）